

# 住み慣れた場所で安心して暮らし続けるために

長寿福祉課 ☎(88)8116

高齢者の皆さんの暮らしを地域住民や関係機関などが連携して支える「地域包括ケアシステム」の一環として「須賀川地方在宅医療・介護連携拠点センター」(以下、拠点センター)を鏡石町、天栄村と共同で設置しています。

## 相談や情報提供で在宅療養を支援

拠点センターは、在宅医療・介護に関する情報提供や、在宅医の調整などを行う相談窓口です。

高齢者本人や介護する家族などの心配事、在宅療養での不安や疑問をはじめ、医療関係者やケアマネジャーなどの介護関係者からも相談を受け

付けています。

## 経験豊富な相談員が対応

主任介護支援専門員や看護師など、複数の資格を持った2人の相談員が対応しています。

また、相談を受けるときは治療中の病気、これまでにかった病気、服用している薬、通院したことのある医療機関、要介護認定を受けている人は要介護度などを伺います。

## 相談できること

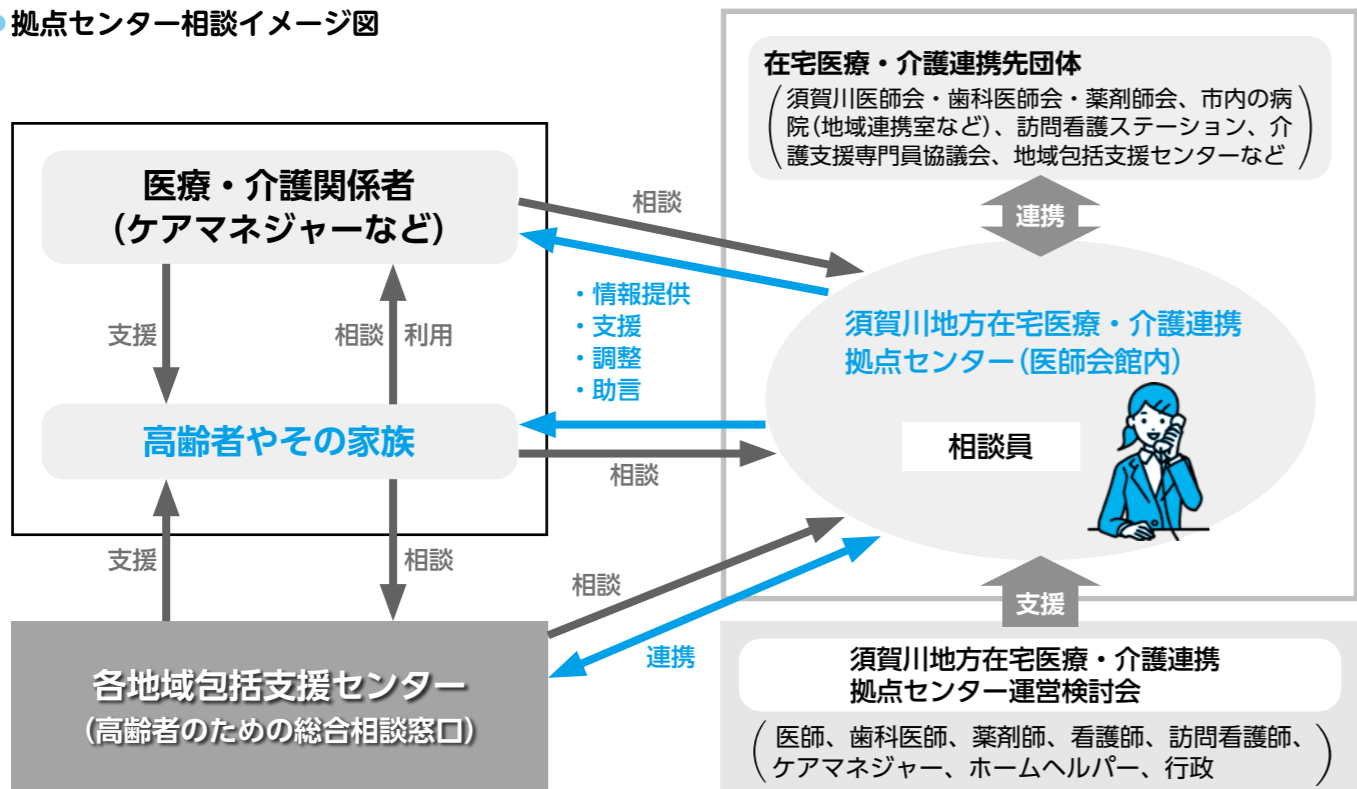
- ▼自宅に訪問して診療してくれる診療所や歯科診療所
- ▼自宅で療養するときに必要な医療・介護サービス

- ▼自宅で服薬指導してくれる薬局
- ▼訪問看護・訪問介護をしている事業所
- ▼退院して自宅に戻った後の通院先 など

## ●拠点センター連絡先

住所	弘法坦19(須賀川医師会館内)
相談日	月～金曜日(祝日、8月13～16日、12月29日～1月3日を除く)
受付時間	午前9時～午後4時
電話番号	(94)7545
FAX番号	(94)7872
メールアドレス	kyoten_sukagawa@vega.ocn.ne.jp

## ●拠点センター相談イメージ図



## 相談方法

拠点センターホームページに掲載している「拠点センター相談依頼票」に、相談内容や相談対象者の情報などを記載し、拠点センターにファクスまたはメールでお申し込みください。電話や来所による予約も可能です。また、高齢者のための総合相談窓口である地域包括支援センターや、担当しているケアマネジャーに相談いただくことで、連携して支援することができま



須賀川地方在宅医療・介護連携拠点センター

## ●地域包括支援センター連絡先

地域	センター名	電話番号
須賀川・浜田	中央地域包括支援センター	(88)8215
西袋・稲田・仁井田	西部地域包括支援センター	(75)3222
小塩江・大東	東部地域包括支援センター	(79)1551
長沼・岩瀬	長沼・岩瀬地域包括支援センター	(67)3113

## 「須賀川ふるさとガイドの会」会員募集 須賀川大好き人間、集まれ!



須賀川の魅力を一緒にPRしませんか?

須賀川ふるさとガイドの会では、新規会員を募集しています。「案内なんてできない」と思っている人も、研修で楽しく須賀川のことを知ることができますので、お気軽にご連絡ください。

### 研修日程

- 第1回 3月12日(火)
- 第2回 3月19日(火)
- 第3回 3月25日(月)
- 第4回 4月2日(火)
- 第5回 4月9日(火)

時間 午前10時～正午

会場 牡丹会館(第3回のみ風流のはじめ館)

応募資格 須賀川が好きな人、須賀川のことをもっと知りたい人

締め切り 3月10日(日)

年会費 2,000円

問い合わせ 須賀川ふるさとガイドの会 会長 酒井清美 ☎090(3643)8790

☎観光交流課☎(88)9144

## —— 須賀川地方在宅医療・介護連携拠点センターの関根センター長にお話を聞きました ——



センター長 医師 関根健司 さん

要介護状態の高齢者は、介護が必要なだけでなく、複数の疾患を抱えていることが少なくありません。

住み慣れた場所で安心して暮らしていくためには、医療と介護が連携してサービスを提供することがとても重要な視点となります。

2025年には「団塊の世代」が後期高齢者となり、医療や介護の需要はますます増加することが見込まれます。高齢者が要介護状態になっていく中で「自分はどこで、どのようなサービスを希望するか」という本人の意思を、元気づちから伝え合う場を作っていただき、家族や医療・介護関係者などの支援者と方針を共有することは、とても重要です。拠点センターもACP\*の周知・啓発に協力していきたいと考えています。

一方で、これらを支えていく在宅医を含む医療・介護資源をいかに確保し、どのように時代の要求に応じていくかも大きなテーマとなっています。在宅医療・介護連携の新しい仲間を増やす努力を、今後も継続していきたいと思っています。

※ACP(Advance Care Planningの略)：「人生会議」ともいい、人生の最終段階における医療やケアについて、本人の意思決定を支援するため、本人や支援者などが繰り返し話し合い、共有する取り組み